



きらめき



学校HP



## 「掃除がもたらす心の成長」

校長 小川 潤 也

学校生活の中で「掃除の時間」があります。私たちの生活空間を快適に守る意味で大切な時間です。本校でもそうですが日本では、子供たちが「掃除の時間」に自分たちで清掃をする学校が多いと思います。私も子供の頃、時間割にあるからという理由で何となく掃除をしていた気がします。そこは日本の学校では当たり前の感覚なのかもしれませんが、「自分たちが生活する場所は、自分たちできれいにする」という意味合いが込められていると思います。

今から10年近く前、私はその当時勤務していた市の代表の中学生20数名を連れて、ドイツの姉妹都市に交換留学の引率をしたことがありました。研修も含めていたので、生徒たちは、ドイツの学校を見学し、ドイツの中学生と交流を行い、各国の文化について意見交換をしました。その際に話題となったのは、日本の学校で行う掃除でした。ドイツでは学校で掃除をするという文化はなく、清掃専門のスタッフが教室等を含め、全てを清掃するとのことです。ドイツの中学生は、日本の学校で行う清掃文化にとっても驚かれ、興味を持っていたのを覚えています。

日本の子供たちが自分たちで掃除をするということには、ただ学校をきれいにするだけではなく他の教育効果も込められているようです。

例えばある教育論者は、掃除を一生懸命することによって、5つの良いことがあると語っています。

- 一つ: 気づく人になれる
- 二つ: 心を磨くことができる
- 三つ: 謙虚になることができる
- 四つ: 感動の心を育むことができる
- 五つ: 感謝の心が芽生えてくる



以上のことは、学校をきれいにするという見た目の効果だけでなく、見た目ではわからない人の心の成長につながることを考えます。

よく、「環境は人を育てる」といいます。きれいな学校で学校生活をする中で、心の落ち着きにもつながります。学習に対する集中も変わります。そして、子供たちが掃除に取り組むことで、先の5つのような心の成長もできることを考えると、学校で行う掃除の効果は大きいと考えています。

南小の子供たちの7月の生活目標は「すすんで掃除をしよう」です。南小の子供たちには、今までもしっかりできている人はそれ以上に、今まで不十分だった人は、気持ちを新たに掃除に取り組んでほしいです。きっと学校もよりきれいに、そして、心ももっともって成長し、磨かれるはずです。

## 5年生自然体験学習

6月11日、12日と1泊2日で5年生が自然体験学習で長瀬方面へ出かけました。2日間とも天気が良く、1日目は、宝登山の登山、体験学習、夕方からはキャンプファイヤーを行いました。2日目は、ライン下り、川の博物館で水の流れ、地形の学習を行いました。宿泊的行事を通じて、多くのことを学ぶことができました。日常の学校生活に生かしていきたいと思います。



## 非行防止教室を行いました

6月19日(水)に埼玉県警察本部少年課「あおぞら」の方々による非行防止教室を実施しました。当日は、体育館で、1～3年生の時間帯、4～6年生の時間帯に分かれ、「身近に潜んでいる危険なこと」「やってはいけないこと等」について、お話していただきました。安心、安全に生活するため、3週間後に迫った夏休みを安全に過ごすためのお話をしていただきました。

## 引き渡し訓練ご協力ありがとうございました

6月25日(火)引き渡し訓練を実施いたしました。当日は、暑さ対策のため、グラウンドではなく、各教室での引き渡しを行いました。スムーズに引き渡しをすることができ感謝しております。しかし、時間になっても来校されず、お子様がなかなか帰宅できない状況もありました。学校には、引き渡し名簿に登録されている方に児童を安全に引き渡す責務があります。災害はいつ起こるかわかりません。その際は、ご協力よろしくお願いたします。



## 【校長室より】

○7月に入り、ますます気温が高くなる日が多くなってきます。子供たちの熱中症が心配です。水分補給は欠かせません。水筒の準備を必ずお願いします。

○近隣市町で小学生の自転車事故が多くなっていると聞いています。ヘルメットをかぶっていれば大きな事故にならなかったという例もあります。放課後、学校周辺で見かける児童の多くはヘルメットを着用している現状ではありますが、まだ完全ではありません。努力義務となっているヘルメットの着用ですが、ぜひ着用するよう声をかけてください。